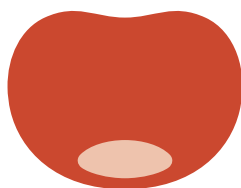


大分県福祉会報

第 89 号
2024 令和 6 年度



散歩をしながらおしゃべりを楽しむうえの園の利用者と職員



社会福祉法人
大分県福祉会



もくじ

3	もくじ・理事長挨拶
4-7	TOPICS
8	法人の理念
9-11	法人データ
12-13	法人からの報告
14-17	各施設からの報告・寄贈者一覧
18-19	法人概要
20	私たちの想いを伝えるメディア
21	社会貢献活動

新たな使命・理念を掲げ、さらなる成長へ

社会福祉法人 大分県福祉会
理事長 有松 一郎



昨年5月、世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の取り扱いが、季節性インフルエンザ等と同じ取り扱いとなる5類へと引き下げられました。このことにより福祉の分野でも落ち着いた生活が始まり、多くの部分でコロナ禍以前の生活に戻っています。一方でこの国では、本格的な人口減少社会を迎え、福祉をはじめとする多くの分野で担い手不足が顕在化しており、さらなる働き方改革の推進や、DXなどのデジタル技術の導入が求められています。そのような状況の中、当法人におきましては、令和5年度を大過なく終え、本年度につきましてもおおむね順調に推移しております。これもひとえに利用児者ならびにそのご家族のみなさまのご理解とご協力、さらには大勢のボランティアのみな

さまや地域のみなさまのご支援、そしてご当局のご指導の賜物と心より御礼申し上げます。そして何より、コロナ禍の厳しい環境を乗り越え、今日まで使命感溢れる取り組みを続けてきた、現場の役職員のみなさまに感謝申し上げます。

さて、「ブランディングプロジェクト」も4年目を迎え、さらなる成果を生み出しつつあります。とくに、昨年度に制定されたロゴマークに続き、本年度は法人が掲げる「使命・理念」についても見直しをおこない、本年度後半より新たな「使命・理念」の運用をスタートいたします。このことにより、今まで以上に笑顔溢れる福祉サービスづくりができるとともに、人もより豊かに成長する職場づくりが実現すると確信をしております。また本年は、当法人が

5年毎に策定する中期ビジョンの改定年でもあります。サービスの高機能・多機能化や人材の高度化など、社会福祉法人としてさらなる成長を目指すとともに、地域コミュニティの拠点として地域に根付き、施設やサービスに関係する方々がより笑顔になることを目指してまいります。

最後に、社会福祉法人に寄せられる期待は、年々大きくなっていると感じます。利用児者の幸福追求はもちろんのこと、社会インフラとしての機能充実に對してもさらなる取り組みが求められています。当法人としても、私どもに寄せられた信頼と負託に全力で応えてまいります。今後ますますのご支援・ご協力をたまわりますことを心よりお願い申し上げます。

1 大分県福祉会の 使命・理念を見直しました

使命・理念が生まれ変わりました。2020年度末から今年度の初めまで、大分県福祉会の各施設から選出されたブランディング委員の職員と、デザイナーの原田さん、岸木さん、そしてファシリテーター兼編集者の竹尾さんと一緒にさまざまなことを議論してきました。社内報やパンフレット、Webサイト、大分県福祉会の新たなシンボルとなるロゴまで。そして、組織の道しるべとなる使命・理念も、「現状のままで良いのか?」「変えた方が良いのか?」検討に検討を重ねました。これまでの大分県福祉会を作ってきた人たちが使命・理念に込めた想いを大切にしつつ、その想いを未来へのバトンとして渡していくために、今の職員が日々の仕事を振り返ることができるように……。最適な表現について各施設でも意見交換をしてもらい、現場の職



員が実行しやすいよう具体的に示された内容にまとめています。「大分県福祉会が目指していること」「目指していることのために実行すること」「職員一人ひとりが大切にすること／行動指針」、これらに掲げた言葉を道しるべに、より良い福祉会を目指していきます。

新しい使命・理念はp.8参照→

2 中期事業計画（令和6年度～令和10年度）を策定しました

1. 法人の使命・理念・行動指針の浸透を図る。

・使命・理念・行動指針を通じて、法人の目指す方向性や価値観を共有する。

2. 経営基盤の強化と法人本部の機能強化を図る。

・時代の変化に対応できる強い法人組織にするため、自己資金獲得に向け取り組む。

- 新たな福祉ニーズへ対応するための財源を確保し法人としての財務強化に向け取り組む。

- 農福連携に関する調査研究をおこなう。

- 農業実践を含めた新たな部門を設立する。

・財務や労務管理、あるいはIT等の福祉実務以外の部門の統合整備に向けた取り組みおよび協業化を推進する。

・サイバーセキュリティの確立や厳正な情報管理の再構築に向けて取り組む。

- ネットリテラシー研修を実施する。

- 個人情報の管理方法についてデジタル管理および物理的管理の両面から再デザインする。

3. 人材確保、育成及び定着に向けた取り組みを推進する。

・ブランディングを推進する。

・人口減少社会における人材確保の安定化に向けた取り組みをおこなう。

- 実習プログラムの充実を図る。

- オープン施設や求職者向け見学会を開催する。

- 学校訪問や採用説明会などを実施する。

- リモート採用やリモート面談についての調査研究をおこない、その導入を目指す。

- SNSを活用した情報発信を通じ求職者に向けたPR活動をおこなう。

・専門研修に加え、専門外研修制度を確立する。

・個人資格の取得・維持に関する費用補填ルールを策定する。

・さらなる働きやすい環境づくりを推進する。

4. 施設の多機能化、高機能化に取り組む。

・現状の施設を活かした多機能化、高機能化に向けた取り組みを推進する。

・専門性の高い療育サービスを事業化する。

5. 地域における公益的な取り組みの推進と情報発信をおこなう。

・法人の広報誌を地域や利用者に配布するとともに、Webサイト、パンフレット、SNSなどを活用して情報発信をおこなう。

・地域ニーズ把握に向けた調査研究をおこなうとともに、地域連携ビジョンを策定する。

・開園祭やオープン施設開催時に地域資源の活用など、地域と協働した取り組みを推進する。

6. 環境保護に関連した取り組みを推進する。

・CO₂の削減に取り組む。

・プラスチックなど石油化学製品の削減を推進する。

・「もったいない」など日本の感性を活かした取り組みを推進する。

7. 一施設一自慢のような施設プライド醸成事業を推進する。

8. 職員室等管理部門インフラの再デザインをおこなうとともに、具体的な改修改築を推進する。

9. 創立100周年を見据えた長期ビジョンの策定を検討する。

・将来の構想を見据えて今後の法人の在り方を検討する。

3 ショートステイ専用居室が 完成しました

大分県福祉会では、利用される方々により良い環境で過ごしていただくために、時代に求められる福祉や保育の実現のために、施設の改築や改修を進めています。本年度は、児童養護施設 森の木の旧食堂を改修し、子育て短期支援事業専用居室を整備しました。子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）は保護者の方が病気・出張・冠婚葬祭・夜勤などの理由で一時的に養育が困難になったときに、大分市からの委託を受けて児童をお預かりする事業です。そのニーズは高く、より安定した受け入れ・支援の提供を目指しています。



4 職員企画のSNSリテラシー講座を開催しました

大分県福祉会の2つの保育園が、Instagramを始めました。主に就職活動中の方や施設を探している保護者に向けて、施設のサービスや雰囲気、業務内容などの情報発信をしています。現代の生活に欠かすことのできないものの一つとなっているSNSですが、一歩使い方を間違えてしまうと誤解を招くことや、誰かを傷つけてしまう危険性も潜んでいます。運用開始にあたって、少し不安もありました。そこで、法人全体でも学びになるように、SNSの運用アドバイスをおこなっている今長 学さんをお招きして、ネットリテラシーの研修会を職員で企画しました。話の中では、実際に起こり得る危険や事例についてお聞きすることができました。一人ひとりがSNSについての適切な知識をもてば、誰でも簡単に発信できる手軽さを活かし、法人や施設の情報を効果的かつ魅力的に発信できると感じました。今回研修を受けたことで疑問や不安が解消し、楽しい日常をみなさんにお届けするためのアイデアでいっぱいです。今後の発信をお楽しみに！



滝尾保育園
Instagram



明野しいのみ保育園
Instagram

5 採用イベント 県外の学校へPRしてきました

採用活動の一環として、本年度は保育や福祉を目指す学生へ大分県福祉会を知ってもらうために、福岡の専門学校へ関谷事務局長と阿南園長が赴いて、施設紹介をおこなってきました。保育や福祉の仕事内容だけでなく、勤務時間や休日の数、給料面やアクセス面など、学生が知りたい情報をわかりやすく伝えるために、ショート動画を作成しました。動画を観てもらった後には、質疑応答を交えながら、学生とたくさんの意見を交わしました。大分県福祉会で働きたいと感じてもらえる仲間を増やし、利用者や子ども、家族の方に、より良いサービス提供ができるよう、これからも採用活動には力を入れていきます。採用の情報については、大分県福祉会のWebサイトに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



6 手ぶら登園を目指して、 おむつのサブスク始めました

明野しいのみ保育園では、仕事と育児を両立する保護者の負担軽減と利便性向上のために、これまでお昼寝コットの導入や保育料の口座引き落とし、ICTの活用などさまざまな取り組みをしてきました。その一環で、今年度はオムツのサブスクを始めました。これまでは、保護者がオムツに記名し、必要枚数を持参、少なくなったら保育士が保護者に連絡し補充してもらうという方法でした。サブスクの利用で、保護者がオムツを準備する手間がなくなると同時に、保育士も園内で個人のオムツを管理する必要がなくなるので、双方の負担軽減になっています。ただし、有料サービスのため、利用は保護者が選択できるようにしています。また0、1歳児クラスでは、食事に使用するおしぼりも園で提供するようにしました。

日々のちょっとした時間が短縮となることで、その時間を子どもたちと過ごす時間に充てたり、保護者が自分の時間をつくりだせる心のゆとりにつながればと思います。



7 小さなSDGsで、 未来へつなぐ活動を続けます

大分県福祉会で今年特に力を入れているのがSDGsです。これは「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界の人々で解決していこう」という計画・目標のことです。各施設では節電を始め、ビニール袋のゴミ削減、書類のペーパーレス化などの活動に取り組んでいます。利用者の方との活動でも、ゴミの分別をしてリサイクルに出したり、衣類や体操服などのリユースに協力していただいたり、身近なところから取り入れるようにしています。先日は、子どもたちとビーチクリーンも体験してきました。一見、難しいイメージもあるSDGsですがより良い世界に住み続けるため、簡単なことからみんなで取り組んでいくことが大切だと考えています。



8 資格をもつ職員による CSP講座を実施しています

「子どもへの関わりに自信がもてるようになり、素直に『うちの子かわいい〜!』と思えるようになりました」。これはコモンセンスペアレンティング(CSP)講座に参加されたお母さんの言葉です。ゆずりはでは、CSP指導者資格をもった職員が、子育てを支えるために保護者や職員を対象に連続講座を実施しています。痾癪がひどいので、叱らずに気を遣って育てていたというある保護者は、CSPで困ったときの対応を学んだことで、痾癪をチャンスと捉え、正しいことができるように教えられるようになったそうです。「親子ともに成長できました」と、変化を実感していました。加えて、講座参加者全員でその変化を喜ぶため、さらに前向きに養育できるという良い循環を私たち自身も実感しています。

詳しく知りたい方や興味のある方は紹介講座も実施していますので、気軽にご連絡ください。

9 「えんえん」、いよいよ着工しました

8月8日(木)、みらいの福祉施設「えんえん」新築工事の起工式が、滝尾保育園第二園庭奥の建設予定地でおこなわれました。式には、大分県福祉会や施工会社などの関係者および地域の代表の方、そして、滝尾保育園の年長児も参加しました。大分社の長山義徳宮司による神事がおこなわれ、工事が安全に、順調に進むことを祈願しました。「えんえん」は、羽田東公園の「えん」、滝尾保育園の「えん」、ご縁の「えん」から名付けられ、保育と地域の相補的な関係をつくる「道のような建築」を設計コンセプトにしています。「えんえん」は、大分県福祉会の新たなチャレンジです。令和7年4月の竣工後、みなさまに必要とされる場所、愛される場所となるよう準備を進めています。



大分県福祉会が目指していること

だれもが笑顔で暮らせる社会をつくる

目指していることのために実行すること

ひとりの困りごとにも まなざしを向ける

職員一人ひとりが大切にすること／行動指針

1. 一人ひとりに寄り添うこと

支援を必要とする子どもたちや障がいのある人、困っている人の話に耳を傾け、解決策や可能性を探るために一緒に考え、行動する。

3. チームの力を信じること

多様な施設と専門性をもつたくさんの職員が、お互いを尊重し、それぞれの得意をつなげれば、困難や課題を乗り越え、目指していることを実現できると信じる。

5. 地域とともにあること

社会や地域における私たちの役割を意識し、地域に根ざした活動とおして、地域の人とともに福祉を実践する。

2. よりよい支援を問いつけること

時代や社会のニーズの変化を察知し、いまの支援のあり方を見直す姿勢や新たな支援のあり方を問う姿勢をもつ。

4. 職員も自分らしくあること

職員もその人らしくいられるよう、生活でも仕事でも自分自身の成長や自己実現に向き合う。

中期事業計画推進のための重点的取り組みと成果

中期事業計画(令和元年度～令和5年度)の最終年度にあたり、「業務・サービスの再構築(リブランディング)に取り組む」、「別府厚生館の居室改修を進めるとともに入居者増に向けて取り組む」、「森の木の多機能化・高機能化を図る」、「福祉サービスの新規事業を検討する」の4つを重点的な取り組みとして、計画実現に取り組みました。

1. 業務・サービスの再構築(リブランディング)に取り組む

- ・福祉会報第88号から紙面のリニューアルを図り、法人の活動を地域、関係機関に広く情報発信した。
- ・社内報9号～11号を発刊し、職員間の情報共有と相互理解を深めた。
- ・法人Webサイト、採用Webサイトの再構築(モバイルでの閲覧やWebでの応募)に取り組み、利便性を高め法人の情報発信に努めた。
- ・法人のアピールと組織の一体感を醸成するためロゴを作成した。

2. 施設の環境整備および多機能化・高機能化に取り組む

- ・別府厚生館は、修繕を中心に利用者の居住環境の整備をおこなった。
- ・森の木は、ショートステイ専用居室の整備に向け関係各所と協議をおこない、工事に着工した。

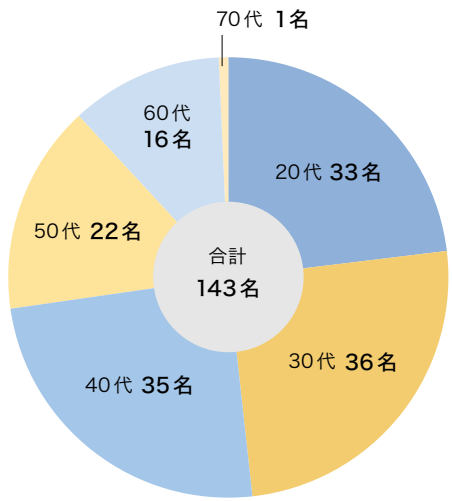
3. 福祉サービスの新規事業を具体化させる

- ・森の木隣接農地の圃場整備をおこない、一部を活用して児童の体験農園の場として活用した。
- ・みらいの福祉施設建築プロジェクト「えんえん」の開設準備室を設置し、年度内の事業開始に向け取り組んだが、建築工事に係る費用高騰を受け、再三の設計見直しを余儀なくされ、令和6年度工事着工に向けて準備をおこなった。

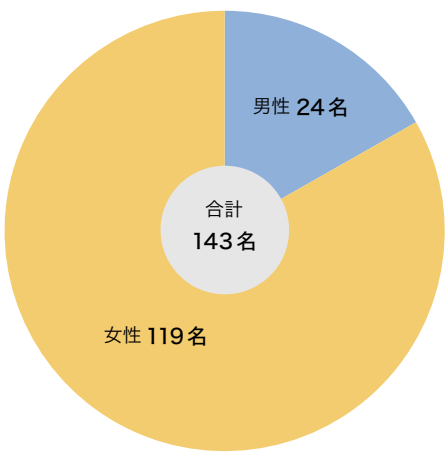
4. 公益的事業の充実に努める

- ・各施設および児童家庭支援センター、相談支援事業所等で実施している公益的事業に継続して取り組むことができた。

職員年齢構成(全体)



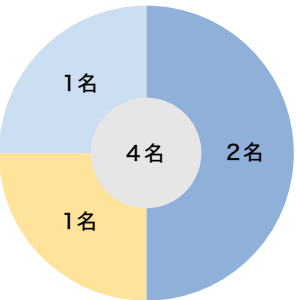
職員男女比(全体)



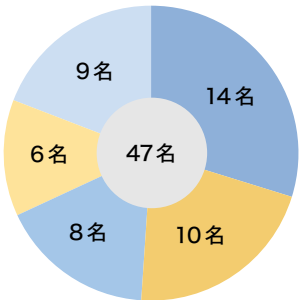
福祉の職場は女性の割合が多いが、大分県福祉会では保育園以外の施設において約3割の男性職員が活躍している。今後も利用者への同性介助ができるような職員配置に取り組んでいく。

職員年齢構成(施設別)

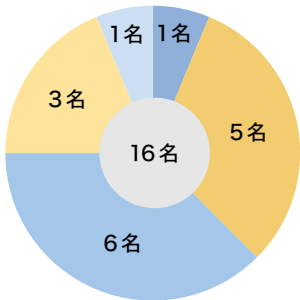
別府厚生館



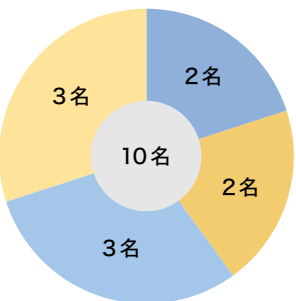
森の木



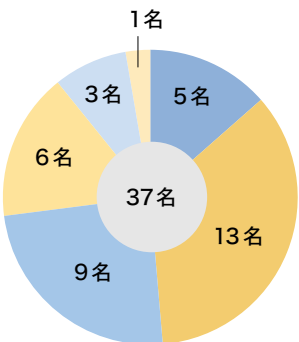
うえの園



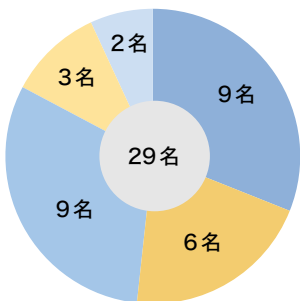
清明あけぼの学園



滝尾保育園



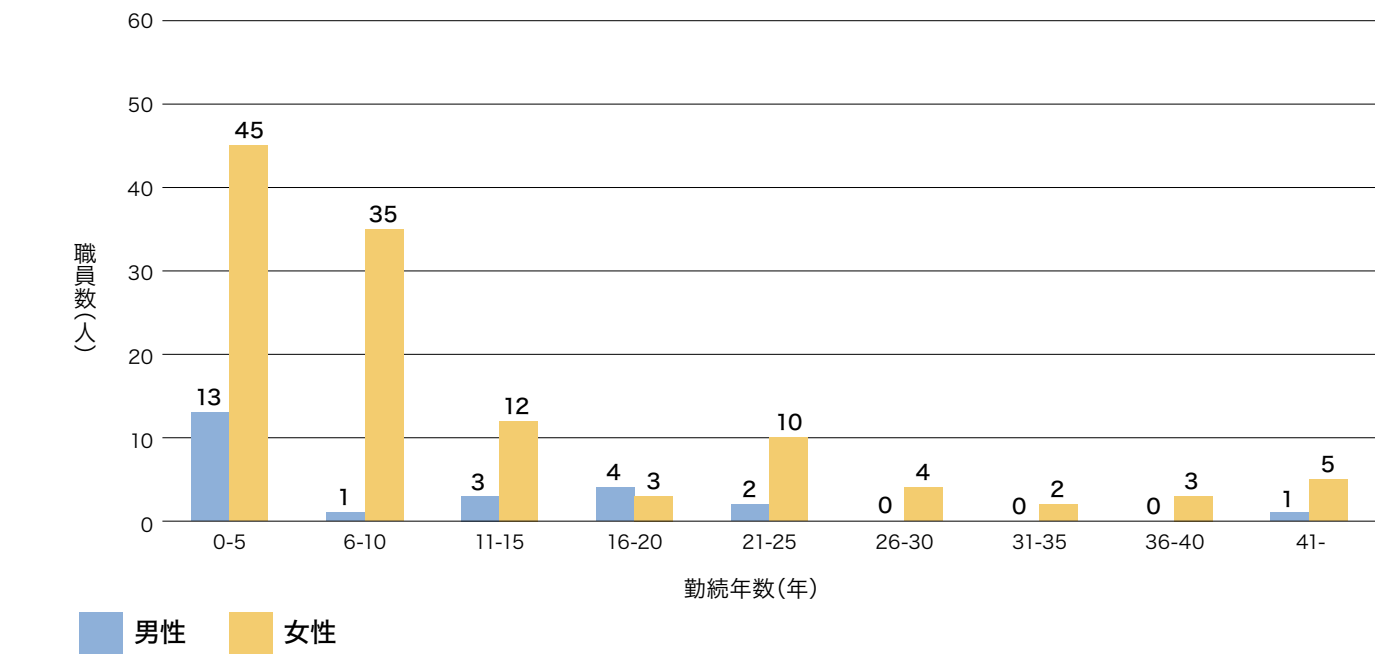
明野しいのみ保育園



20代 30代 40代 50代 60代 70代

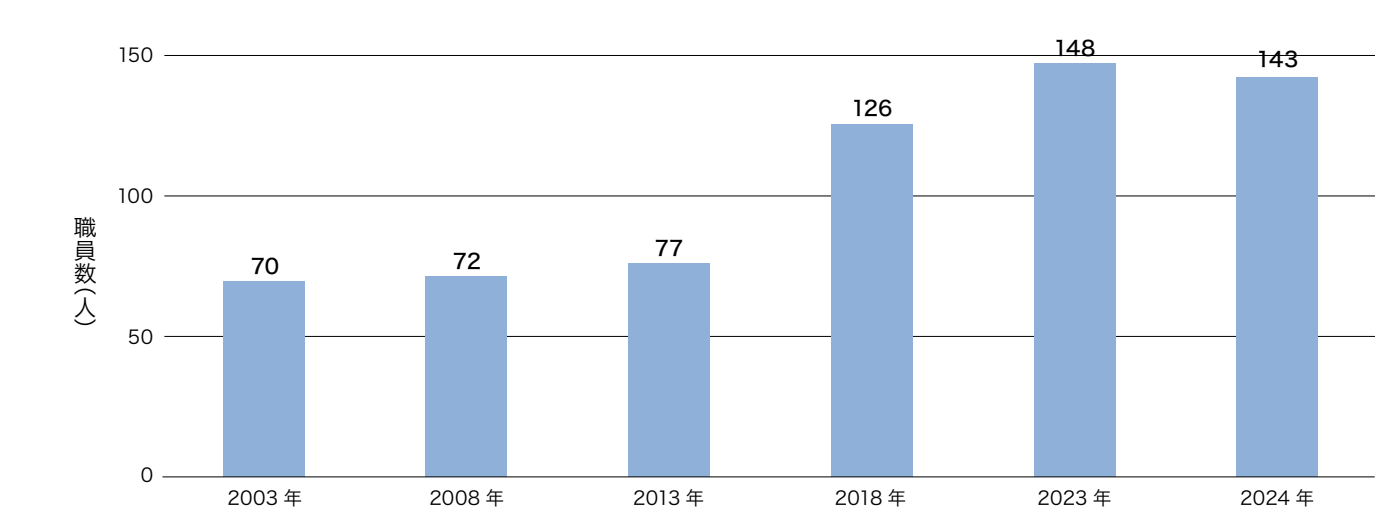
※2024(令和6)年4月1日現在。常勤職員のみ(パート・アルバイト含まず)。

勤続年数



※2024(令和6)年4月1日現在。常勤職員のみ(パート・アルバイト含まず)。

職員数推移



大分県福祉会では、1999年にうえの園の発足、2005年に大分市立わかば園と養護施設青松園を移転統合し、森の木が開園したことを受け、職員が増加してきました。その後の約20年間においても、地域小規模児童養護施設の開設、保育園の分園、児童クラブ、児童家庭支援センターや相談支援事業所の新設など、地域のニーズに合わせた事業展開をしたことで、さらなる職員の増員を進めているが、人材確保には苦慮している面があります。

※2024(令和6)年4月1日現在。常勤職員のみ(パート・アルバイト含まず)。

職種構成

	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園
施設長	1	1 ※B	1 ※B	1 ※F	1	1
副施設長				1	1	
次長		1 ※C		1		
センター長				2 (うち1名 ※F)		
副センター長				1 ※G		
サービス管理責任者		1 ※C				
児童発達支援管理責任者			2 (うち1名 ※D)			
母子支援員	2					
少年指導員	1 ※A					
生活支援員		8				
児童指導員			3 (うち1名 ※D)	6		
保育士			3	19	29	23
相談支援員		2		4		
職業指導員			1	1		
里親支援専門相談員				2		
家庭支援専門相談員				1		
心理担当職員				3 (うち1名 ※G)		
栄養士		1		1	2	4
調理員		1	1	3	2	
看護師		1		1	1	1
放課後児童支援員					1	
事務員	1 ※A	1	1 ※E	2 (うち1名 ※E)		
介助員				1		
合計	4	16	10	47	37	29

※2024(令和6)年4月1日現在。常勤職員のみ(パート・アルバイト含まず)。 A,B,C,D,E,F,Gは兼務。合計は兼務を除く。

実習受入数

実習受入数	15校	延べ人数	64名
受け入れ校の例			
大学(県内)	大学(県外)	専門学校(県内)	高校
別府大学短期大学部	香蘭女子短期大学	智泉幼児保育専門学校	大分南高等学校
別府溝部学園短期大学	九州医療科学大学	智泉福祉製菓専門学校	
東九州短期大学	中村学園大学短期大学部		
大分大学	福岡女学院大学	専門学校(県外)	
日本文理大学	平成音楽大学	福岡こども専門学校	
大分県立芸術文化短期大学			

※2023(令和5)年度。

育休取得人数(過去5年)

別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計
0	0	0	10	8	5	23

※2019(平成31)年4月1日～2024(令和6)年3月31日。

法人からの報告

法人からの報告

2023(令和5)年度の法人本部、および各施設の収支報告です。

大分県福祉社会事務局および各施設においては、関係書類の閲覧に応じる用意があります。

単位：円

資金収支計算書

勘定科目	法人本部	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計
事業活動収入	863	38,230,669	145,447,380	76,720,510	360,083,863	288,027,256	214,600,973	1,123,111,514
事業活動支出	21,409,262	43,928,934	133,649,284	83,359,674	353,667,887	277,320,077	201,806,468	1,115,141,586
事業活動資金収支差額	△ 21,408,399	△ 5,698,265	11,798,096	△ 6,639,164	6,415,976	10,707,179	12,794,505	7,969,928
施設整備等収入	0	0	0	0	142,000	1,270,000	0	1,412,000
施設整備等支出	2,371,270	422,800	2,872,467	1,106,233	7,956,330	7,089,100	6,252,000	28,070,200
施設整備等資金収支差額	△ 2,371,270	△ 422,800	△ 2,872,467	△ 1,106,233	△ 7,814,330	△ 5,819,100	△ 6,252,000	△ 26,658,200
その他の活動収入	25,087,070	9,700,000	660,000	2,015,000	17,500,000	6,000,000	0	60,962,070
その他の活動支出	112,320	2,818,734	7,281,558	3,115,580	20,224,150	3,799,773	6,766,614	44,118,729
その他の活動資金収支差額	24,974,750	6,881,266	△ 6,621,558	△ 1,100,580	△ 2,724,150	2,200,227	△ 6,766,614	16,843,341
当期資金収支差額	1,195,081	760,201	2,304,071	△ 8,845,977	△ 4,122,504	7,088,306	△ 224,109	△ 1,844,931
前期末支払資金残高	2,257,678	4,870,926	28,727,807	16,866,728	48,303,315	3,639,164	18,533,430	123,199,048
当期末支払資金残高	3,452,759	5,631,127	31,031,878	8,020,751	44,180,811	10,727,470	18,309,321	121,354,117

事業活動計算書

勘定科目	法人本部	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計
サービス活動収益計	0	35,576,937	141,977,405	75,944,731	354,716,064	283,068,480	212,611,675	1,103,895,292
サービス活動費用計	24,058,057	42,142,662	137,662,770	84,661,465	357,378,838	284,905,511	209,746,635	1,140,555,938
サービス活動増減差額	△ 24,058,057	△ 6,565,725	4,314,635	△ 8,716,734	△ 2,662,774	△ 1,837,031	2,865,040	△ 36,660,646
サービス活動外収益計	65,863	2,653,732	3,469,975	775,779	5,367,799	4,958,776	1,989,298	19,281,222
サービス活動外費用計	0	0	454,473	444,417	2,861,930	683,155	427,051	4,871,026
サービス活動外増減差額	65,863	2,653,732	3,015,502	331,362	2,505,869	4,275,621	1,562,247	14,410,196
経常増減差額	△ 23,992,194	△ 3,911,993	7,330,137	△ 8,385,372	△ 156,905	2,438,590	4,427,287	△ 22,250,450
特別収益計	25,022,070	0	0	0	142,000	1,270,000	440,000	26,874,070
特別費用計	0	2,400,915	6,241,168	944,000	10,848,637	1,192,158	4,888,376	26,515,254
特別増減差額	25,022,070	△ 2,400,915	△ 6,241,168	△ 944,000	△ 10,706,637	77,842	△ 4,448,376	358,816
当期活動増減差額	1,029,876	△ 6,312,908	1,088,969	△ 9,329,372	△ 10,863,542	2,516,432	△ 21,089	△ 21,891,634
前期繰越活動増減差額	△ 15,131,735	34,418,085	67,422,907	22,497,462	172,700,185	57,890,370	47,423,875	387,221,149
当期末繰越活動増減差額	△ 14,101,859	28,105,177	68,511,876	13,168,090	161,836,643	60,406,802	47,402,786	365,329,515
基本金取崩額	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の積立金取崩額	0	9,700,000	660,000	2,015,000	17,500,000	6,000,000	0	35,875,000
その他の積立金積立額	112,320	0	0	1,500,000	6,500,000	0	0	8,112,320
次期繰越活動増減差額	△ 14,214,179	37,805,177	69,171,876	13,683,090	172,836,643	66,406,802	47,402,786	393,092,195

貸借対照表

勘定科目	法人本部	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計
流動資産	3,769,506	7,912,911	36,803,175	11,739,077	62,278,888	27,842,444	29,827,972	180,173,973
固定資産	9,239,497	58,732,838	177,249,909	69,104,582	520,229,050	392,008,274	456,525,373	1,683,089,523
資産の部合計	13,009,003	66,645,749	214,053,084	80,843,659	582,507,938	419,850,718	486,353,345	1,863,263,496
流動負債	2,206,327	2,281,784	5,771,297	3,718,326	21,098,077	22,466,974	17,530,651	75,073,436
固定負債	1,218,410	5,988,402	11,294,194	6,299,592	24,172,269	137,205,337	159,549,616	345,727,820
負債の部合計	3,424,737	8,270,186	17,065,491	10,017,918	45,270,346	159,672,311	177,080,267	420,801,256
基本金	23,798,445	0	0	0	0	19,557,000	30,312,000	73,667,445
国庫補助金等特別積立金	0	9,570,386	112,915,717	37,332,651	133,850,949	172,214,605	209,608,292	675,492,600
その他の積立金	0	11,000,000	14,900,000	19,810,000	230,550,000	2,000,000	21,950,000	300,210,000
次期繰越活動増減差額	△ 14,214,179	37,805,177	69,171,876	13,683,090	172,836,643	66,406,802	47,402,786	393,092,195
純資産の部合計	9,584,266	58,375,563	196,987,593	70,825,741	537,237,592	260,178,407	309,273,078	1,442,462,240
負債及び純資産の部合計	13,009,003	66,645,749	214,053,084	80,843,659	582,507,938	419,850,718	486,353,345	1,863,263,496

※ 2024(令和6)年3月31日現在。

績について(3)佐伯市地域小規模児童養護施設の開設中止について(4)「えんえん」について(5)令和6年度医療的ケア児支援センター相談対応等業務委託について(6)今後の予定(夏期職員研修会)について報告をおこなった。

7月臨時理事会 令和6.7.18

(1) 常務理事の選任について(2) 滝尾保育園の土地文筆について(3) 滝尾みらいプロジェクト「えんえん」新築工事入札予定価格の設定について(4) 入札結果および落札業者との業務委託契約の承認について(5) 法人の使命・理念について審議をおこない原案どおり承認された。

福祉サービス運営委員会 第1回 令和5.11.20

令和5年11月20日法人事務局3階会議室で開催された。理事長、委員長のあいさつの後、令和5年度前期の重点的取り組み、利用者等からの苦情や要望、事故報告およびヒヤリハットについて、法人および各施設から報告をおこなった。委員からは、利用者からの声に施設および利用者双方から聴き取りの対応、障がい者施設での看取りができる機能拡充の要望、保育園での行事にかかる保護者と職員のコミュニケーションについて意見をいただいた。総評では、福祉サービス提供は厳しい対応を強いられる場合もあるが、問題の適切な解決には理解と信頼を得ることが必要である、誤業の問題はマニュアルなどを参考に系統的に解決を図る、福祉サービスを提供する職員が誇りと情熱をもち続けられるように本部は運営していくことが大事であるとのご意見をいただいた。

現場の誇り、やりがいを見いだしながらチャレンジしていきたい。福祉サービス全般についても、何のためにあるのか、誰が喜ぶのか、誰ががんばっていくのか、誰にとって生きがいになるのか、そのような基本的なものを大切にしていき、信頼と負託に応えていきたいとの理事長のあいさつで会を閉じた。

福祉サービス運営委員会 第2回 令和6.3.14

令和6年3月14日本部会議室において開催された。理事長、委員長のあいさつの後、5年度後期の本部および各施設の重点的取り組みや法人の状況、利用者などからの苦情、要望、事故報告、ヒヤリハットが報告されその対応について協議がおこなわれた。委員から、コロナ対応が変わり、地域行事に利用者が参加するようになってほしい。こどもの穏やかな様子には保育者の関りや環境や食事が関係していると感じていることや、試行錯誤しながらの取り組みに評価をいただいた。父母、祖父母参加行事の取り組みへの要望はさまざまな状況を勘案して実施していることを事業所から報告した。

総評では、公益的事業の充実ついで質問に続き、職務に従事する職員間の、コミュニケーション、理念の共有、モチベーションの維持、リスク対応には、情報共有をより高度化するための取り組みが重要、利用者と保護者の関係では、情報を開示の量によって、施設の状況が十分理解できるようになりより一層質の高いサービスと安心、納得が得られるとのご意見をいただいた。

法人の足元をしっかりと作り上げていくのは透明性の高い運営である。いただいたご意見を共有してより良い組織づくりに邁進したいとの理事長のあいさつで会を閉じた。

夏期職員研修会 令和6.8.17

法人の全職員が集まる夏期職員研修をトキハ会館で開催しました。アクサ生命保険株式会社の佐賀剛和男様を講師に迎え、ライフマネジメントセミナーを実施。株と債券・保険や貯蓄などについて学び、将来設計について考える良い機会となりました。後半は、法人の新しい使命・理念が発表されました。法人全体から意見を聞き、ブランディング委員会を中心に検討を重ねてきた過程も紹介され、その想いを大切に切磋琢磨していこうと思える時間でした。研修会後の意見交歓会では、動続20年表彰や新採用職員の自己紹介の時間もあり、普段なかなか交流する機会をもてない他施設職員と交流を深める機会となりました。

【令和5年度】
9月定時理事会 令和5.9.25

(1) 森の法人車購入について(2) 積立資産取崩しおよび目的外使用について(3) 令和5年度第1次および第2次補正予算について審議をおこない、いずれも原案どおり承認された。報告事項では①職務執行状況について②森の木子育て短期支援大分市専用居室整備事業および地域小規模児童養護施設(佐伯市)について③「えんえん」について④ブランディング委員会(Webサイトリニューアル、福祉会報の刷新、法人ロゴ)について報告をおこなった。

12月臨時理事会(書面決議) 令和5.12.6

(1) 森の木子育て短期支援大分市専用居室整備事業に係る入札参加業者の選定について、原案通り承認された。

12月定時理事会 令和5.12.21

(1) 児童養護施設森の木食堂内部改修(森の木子育て短期支援大分市専用居室整備事業)入札予定価格の設定について(2) 入札結果および落札業者との業務委託契約の承認について(3) 滝尾みらいプロジェクト「えんえん」新築工事入札参加業者の選定について(4) 滝尾みらいプロジェクト「えんえん」新築工事設計監理費追加契約について(5) 規則改正について(6) 積立資産取崩しについて(7) 令和5年度第1次補正予算、第2次補正予算および第3次補正予算について審議をおこない原案どおり承認された。報告事項では、理事長および業務執行理事の職務執行状況の報告をおこなった。

3月臨時理事会(書面決議) 令和6.3.1

(1) 森の木子育て短期支援大分市専用居室整備事業に係る入札参加業者の選定について、原案通り承認された。

3月定時理事会 令和6.3.25

(1) 児童養護施設森の木食堂内部改修(森の木子育て短期支援大分市専用居室整備事業)入札予定価格の設定について(2) 入札結果および落札業者との業務委託契約の承認について(3) 幹部職員人事について(4) 森の木本園定員変更について(5) 規則改正について(6) 運営規定および管理規定の改正について(7) 令和5年度補正予算について(8) 中期事業計画(令和6年度～令和10年度)および令和6年度事業計画について(9) 積立資産の取り崩しおよび目的外使用について(10) 令和6年度当初予算について審議をおこない原案通り承認された。報告事項では、(1) 理事長、業務執行理事の職務執行状況の報告(2) 大分県指導監査結果について(3) 大分市指導監査結果について(4) 福祉サービス運営委員会報告をおこなった。

【令和6年度】
5月定時理事会 令和6.5.27

(1) 規則改正について(2) 運営規定の改正について(3) 森の木佐伯市地域小規模児童養護施設の開設中止について(4) 令和5年度第4次補正予算について(5) 令和5年度事業報告および決算について(6) 令和5年度監査報告について(7) 令和6年度第1次補正予算について(8) 定時評議員会の開催および評議員会に推薦する役員候補者の選任について審議をおこない、いずれも原案どおり承認された。報告事項では、(1) 職務執行状況の報告(2) 森の木基金利用実績について(3) 職員給料表の訂正について(4) 「えんえん」について(5) 令和6年度医療的ケア児支援センター等業務委託について(6) 今後の予定について報告をおこなった。

6月定時評議員会 令和6.6.18

(1) 令和5年度事業報告および決算について(2) 監査報告について(3) 役員の選任について審議をおこない原案どおり承認された。報告事項では(1) 令和6年度事業計画および当初予算資料を添付したこと(2) 令和5年度森の木基金利用実

人事異動 (令和6年4月1日付)

【昇格】 事務局長 関谷眞佐子 (兼うえの園・清明あけぼの学園園長) 〈うえの園〉 次長 平安恭子 サブリーダー 久野みどり サブリーダー 山本俊輔 〈森の木〉 リーダー 藤岡大樹 サブリーダー 井手彩記子	〈明野しいのみ保育園〉 リーダー 原口直美 サブリーダー 若林歌織 【転任】 〈別府厚生館〉 安長沙紀(森の木) 〈うえの園〉 米野智恵(別府厚生館) 【新採用】 〈うえの園〉
--	---

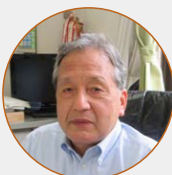
中村太亮、長野俊太(令和6.6.1付) 〈清明あけぼの学園〉 下村久美 〈森の木〉 廣田有加、羽田野晃慶、高橋杏実 〈明野しいのみ保育園〉 武本みく、首藤茉桜 【再雇用】 〈別府厚生館〉 館長 安東一夫(兼顧問・アドバイザー)	【退職】(令和6.3.31付) 〈別府厚生館〉 甲斐遼太郎 〈森の木〉 垣迫弘美、佐藤美穂、阿南結衣 〈滝尾保育園〉 吉井由香 〈明野しいのみ保育園〉 新川絢女
--	--

別府厚生館

定員 16世帯 現員 10世帯 (2024年8月末時点)

力を入れていること

現在、自立を目標に母子の生活支援をしながら、親子関係再構築支援にも力を入れています。今年は、子どもの問題行動に教育的に対処できるスキルを指導するコモンセンス・ペアレンティングなどのペアレントトレーニングに取り組み、虐待を予防しながら良好な親子関係の維持を目指しています。また、母子分離した家庭の再構築や、その後の支援にも関係機関と連携しながら力を入れています。



館長 安東 一夫

入所後に新たな課題が明らかになる場合が多く、心身の不安定や養育不安などアセスメントを十分おこなう必要性を感じます。母子の困りを正確に把握することに努め一体的な支援の充実に取り組んでいます。母子生活支援施設の専門性を活かし、地域の子育て世帯の支援に取り組んでいきます。



Q 母子支援員と少年指導員の役割は？

A 母子支援員は、生活状況に応じて就労や生活、養育などの母子に関する相談支援をおこない、少年指導員は、児童に対する学習支援や生活支援をおこないます。母子支援員、少年指導員ともに、福祉事務所や学校、児童相談所などの関係機関と連携しています。母子支援員になるには、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、児童福祉施設の職員を養成する学校・養成施設の卒業などが必要です。

森の木

定員 42名 現員 31名 (2024年8月末時点)

力を入れていること

施設の多機能化については、児童家庭支援センター(大分市・佐伯市)や一時保護専用施設を開設するなど先進的に取り組んできました。本園含め、それぞれの機能の充実強化を図るとともに、これを担う職員およびその専門性の確保のため、園内研修の充実や外部研修への派遣など積極的に取り組みます。また、生活困窮者支援事業や高齢者ふれあい事業などの社会貢献活動も継続します。



施設長 安藤 覚

「子どもの最善の利益」を図ることを第一に考え、安心安全な日常生活を軸に、一人ひとりに寄り添い、子どもたちが笑顔でいられるよう全職員で取り組んでいます。そして、子どもたちの成長を支える職員も、互いに支え合い、認め合い、笑顔で働ける職場環境づくりに努めています。



Q 本体施設と地域小規模施設の違いは？

A 本体施設は男子が2ユニット、女子と幼児が1ユニットにそれぞれ分かれて暮らしています。ホールやグラウンドを利用して遊ぶこともできます。地域小規模施設は一軒家を活用し、より家庭的な雰囲気を感じることができます。食材の買い出しや子どもたちがいる空間で調理をおこなうため、家事に触れる機会が多いのも地域小規模の特徴です。このように環境は違いますが、森の木として協力しながら子どもたちの支援に取り組んでいます。

うえの園

定員 20名 現員 20名 (2024年8月末時点)

力を入れていること

私たちは、信頼される質の高い支援をもとに、障がいのある人の生きづらさを軽減し、「私は〇〇が好き」を生活に取り入れ笑顔を増やすことに努めています。言葉や表情、日常の様子などから一人ひとりの好みを想像し、さまざまな場面で選択肢の提供を進めています。外出では、食事や買い物をはじめ、実家や懐かしい場所をめぐることもあります。その人の歴史を職員も体験することで、より信頼関係が深まり、これからの人生と一緒に考える際に活かせればと思っています。



園長 関谷 眞佐子

コロナ禍を経て、短期入所事業や日中一時支援事業などの地域で安全安心な生活を続けるために必要な事業については、どんな状況でも利用できるように、今後、取り組む必要があると感じています。障がいのある人もない人も暮らしやすい地域福祉、そこで働く人にとっても優しい施設を目指しています。



Q ノーリフティングケアとは？

A 支援の中で、持ち上げ、引きずりなどをせず、リフトなどの福祉用具を積極的に使用することで、職員の身体に負担のかかる作業を見直すものです。利用者の能力や体格によって使用する福祉用具も変わってくるため、事前にアセスメントをおこなって、利用者の方にも安全安心なサービス提供ができるようにしています。

清明あけぼの学園

定員 10名 現員 10名 (2024年8月末時点)

力を入れていること

子どもたちの成長には、障がい特性とこれまでの体験によるトラウマとが複雑に影響し合うことを学びました。私たちは、子どもたち自身が自分のことを好きになり、心が安定して生活を楽しめるよう子どもの成長に沿った柔軟な支援に努めています。また、卒業後の生活スタイルをイメージし、親子で障がい福祉サービスのことを学びました。お互いががんばりすぎない適度な距離感を少し意識することでご家族も笑顔でいられるような関係再構築を進めていきます。



園長 関谷 眞佐子

一人ひとり障がいの特性は違い、目指す生活のスタイルも違います。子どもにあった目標と、日々の経験の積み重ねが成長を促します。多岐にわたってチャレンジできる機会を作り、自己効力感を育みたいのです。地域福祉を支える地域資源として、短期入所事業や日中一時支援事業の充実も目指しています。



Q トラウマインフォームドケア(TIC)とは？

A 子どもたちの不可解な行動に「トラウマ(心的な外傷)があるかもしれない」という観点をもって対応する支援の枠組みです。被虐待経験や災害や事故など命に関わる経験をして入所した子どもたちが安心して過ごせるよう、研究班を作り、取り組みをおこなっています。また、大分大学福祉健康科学部の飯田法子准教授がスーパーバイザーとして参加し、子どもたちの対応をともに考えています。

定員 200名 現員 215名 (2024年8月末時点)

力を入れていること

前年度までに引き続き、「子どもの主体性を伸ばし、一人ひとりの子どもの心が満たされる保育」をおこなうことに最大の力を注いでいます。そのために職員が自身の成長や自己実現に向き合うことを大切にしています。具体的には、計画的に実施する園内研修の充実により、個人の課題や悩みを共有して職員全員で解決していきます。また、日々の業務において職員間で自分の思いや考えを伝え合い、協調性や連帯感を高めていく努力を続けています。



園長 堤 郁夫

令和5年12月より、SNSによる積極的な情報発信に力を入れています。本園の保育に関することや毎日の給食献立、子育て広場や諸行事のお知らせを工夫しながらいていねいにおこなっています。また、本園では、地域貢献や地域交流にも積極的に取り組んでいます。地域に開かれ、地域に愛される園でありたいと願い、新しい取り組みも進めています。



Q 保育園に通っていないくても、親子で参加できるイベントがありますか？ また、育児の悩みなども相談することができますか？

A 月に2回「子育て広場」を開催しています。保育園の雰囲気を知ってもらいながら、親子での触れ合いや活動に参加していただけます。また、年に2回青空マルシェを開催しており、どなたでも参加できます。育児の悩み相談は、いつでも受け付けています。専門性をもった保育士が、困りごとや相談に応じ、親御さんに寄り添います。

定員 152名 現員 152名 (2024年8月末時点)

力を入れていること

わらべうた遊びの実践発表に加え、「ごっこ遊び」の中で必要な手作り玩具の作成を職員どうして学び合い、保育の充実を図っています。幼児クラスは、子どもたちの経験を整理し豊かにするため「課業」を取り入れ、体育・文学・美術・数・環境認識の五つの柱で月ごとに計画を作成した保育をおこなっています。また、職員間のコミュニケーションを図る機会を多く設け、円滑な業務の遂行を目指しています。



園長 阿南 奈緒美

「子ども主体の保育」と保育士の業務軽減、利便性の向上のため、ICTをさらに活用するためのDXを推進しています。そのひとつが、「保育ドキュメンテーション」で、アプリで日々の記録をすることで、連絡帳や複数の帳票が一括作成できます。PCに負担感のある職員もいるので、スキル習得が課題です。



Q 保育園で働く人の職種は？

A 保育士は子どもに関する専門的知識をもち、生活の援助をおこなっています。看護師は、体調管理が大切な仕事です。調理員は、栄養士や調理士の資格をもち、給食、おやつ、離乳食、アレルギー食を作っています。どの職種も保護者に子育て、健康、食事に関する支援や助言などをおこないます。子育て支援員は、保育業務の補助をしますが、支援員から保育士資格を取得する人もいます。さまざまな職種の職員が集まり、子どもたちの成長を支えています。

相談支援事業所 うえの園

相談支援事業所うえの園では障がいがある方やご家族の気持ち、想いに寄り添い、その人が快適に地域生活や社会生活を送ることができるようにサポートをおこなっています。

相談支援専門員が、障がいのある方やご家族のみなさまからの相談に応じ、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、障害福祉サービスなどをご利用の際に必要な、「サービス等利用計画および障害児

支援利用計画」を作成いたします。また、作成したサービス等利用計画が最適かどうかを一定期間ごとにモニタリングし、必要であれば見直しや修正をおこないより良い生活を送れるようにします。

TEL:097-574-8535

【ご利用時間】月曜日～土曜日（祝祭日は除く）

10:00～18:00 | みなさまの「これから」と一緒に考えます。お気軽にご相談ください。



Photo:Koichiro Fujimoto

相談支援専門員が、障がいをおもちの方やご家族のみなさまからの相談に応じます

児童家庭支援センター ゆずりは/HOPE

児童家庭支援センターは、児童福祉法によって設置されている相談機関です。子どもの発達や子育てに関することや家庭、学校、毎日の生活のことなど、どんなことでも相談できます。保護者の方、子ども本人、地域の方など、どんな方のご相談にも応じ、相談支援員や心理士が、お電話や訪問、来所によってお話をうかがいます。

・ショートステイ/トワイライトステイ事業…大分市や県南地域の市町村からの委

託を受け、ショートステイ・トワイライトステイ事業をおこなっています。

・大分くらしサポート事業…生計困難者等に対する生活・相談支援事業に参画しています。生活困窮者へ物資援助と支援、3ヶ月間の見守りをおこないます。

・子育てサロンるんるん♪（ゆずりはのみ）…保護者の負担軽減や子どもへの体験活動の提供など家庭支援のため毎月第4土日にゆずりはや近隣施設で実施しています。



Photo:Koichiro Fujimoto

子育てサロンるんるん♪の活動風景

令和5年度寄贈者一覧

たくさんのご支援、ありがとうございました（順不同・敬称略）

別府厚生館

一般社団法人バンクフォースマイルズ、一般社団法人miraie、大分中央ロータリークラブ、お菓子工房くりの木、小野梅子、株式会社豊豫物産、株式会社レイメイ藤井大分支部、九州納豆組合、九州アイスクリーム協会、清藤倫代、黒澤俊人、国際ソロプチミスト大分みどり、佐藤みどり、末永昌久、大法輪寺、野中博美、花井和子、非営利一般社団法人おふくわけ、肥山博子、別府北ロータリークラブ、別府中央ライオンズクラブ女性部会、別府市ボランティア連絡会、ロクシタンジャポン株式会社

森の木

匿名、ゆうび株式会社、大分銀行、花井和子、渡辺和郎、株式会社サニーブレイスファーム、黒木正道、大和冷機労働組合、西田生子、大法輪寺、あしながおじさんプロジェクト、Daska & Desiree、たきお子ども食堂、小山浩、永嶋辰也、小橋健治、麻生正義、小藪正男、ダイヤモンドホールディングス株式会社、古庄啓一・千鶴子、news DELI Bakery 大分店、内野優・清子、賀来校区民生委員、葵会館、株式会社EXTRA、大分県連合みどり会、根石徳子、金富義久、九州労働金庫、カジワラ、公益社団法人青少年育成支援大和の心、株式会社セリア・ロイル、井上靖子、初瀬井路土地改良区、安達真知子、賀来公民館、管家修一、藤島良司、株式会社フレール館、織田信和、平井静穂、小野悦子、飯倉安隆、渡辺萬里江、門司一徹、株式会社インホープ、全国シャンメリー協同組合、大分県農業共済組合、松田正人、内藤彰信、渡辺淳二、匿名、河野博明、溝口珠子、江藤行大、三浦テルコ、安部真一郎、大分県遊技業協同組合、岡部睦雄、ほっともっと、衛藤祐太郎、橋本まゆみ、株式会社堀文、豊後魂、学習塾ベガサス、安部和子、服部浩二、田村有樹子・溝口勇児、日本鏡餅組合、大分県養豚協会、新海美優、株式会社ファーストリテイリング、羽田野まゆみ、阿部寿恵、浅野智、修進建設有限会社、橋本まなみ、ひまわり食堂、グランマChie、村松水産、大多和敬子、フィリップモリスジャパン、日本製鉄株式会社労働組合、大分エージェンシー、長野比呂志、竹内アユミ、大分ロータリークラブ、おいたのヨセフおじさん、株式会社セントラルカンパニー、了戒智恵美、カーブス大分萩原店、宇留嶋エツ子、糸永和人、ブレンディッシュ生命保険株式会社、日本缶詰

びん詰レトルト食品協会、高司洋志、村石哲也、天使のおやつ、姫野哲也、合同会社かなで、スイング明野、株式会社クリエイティブ明日香、大分梅花ライオンズクラブ、第一生命保険労働組合大分支部、株式会社グランディーズ、武野慎祐、羽田歯科医院、つばさ歯科、永井歯科医院、中川歯科医院、二宮歯科、常和会、日高佐和子、佐世達哉、株式会社タカフジ、大分県児童養護施設財団、松下清高、尾崎隆、堤、中島益雄、むぎの会、フォトスタジオ ビノキオ、アンビシャス美容学校、慎重煥・羅京善、日本アミューズメント産業協会、NPO法人ホークスジュニアアカデミー、株式会社大分フットボールクラブ、キャピタルロータリークラブ

うえの園・清明あけぼの学園

イオン九州イオンパークプレイス大分、竹田市明治地区自治会、竹田ライオンズクラブ、九電工、九電QAN、大分県遊技業協同組合、株式会社セントラルカンパニー、二豊フーズ(株)、後藤(匿名)、嶋津賢士、飛瀬麻美、後藤高見

滝尾保育園

緑風苑、滝尾保育園保護者会、滝尾中学校、羽田東サロンの会、大分日産

明野しいのみ保育園

明野しいのみ保育園保護者会、大分日産

みなさまからいただいた寄付は、現在利用している方々のためや、将来のより良い環境づくりのためなどに役立てています。より良い福祉の実現に向けて、みなさまのご支援を心よりお願い申し上げます。
寄付・寄贈をご検討中の方は、法人本部もしくは各施設へ事前にご相談ください。

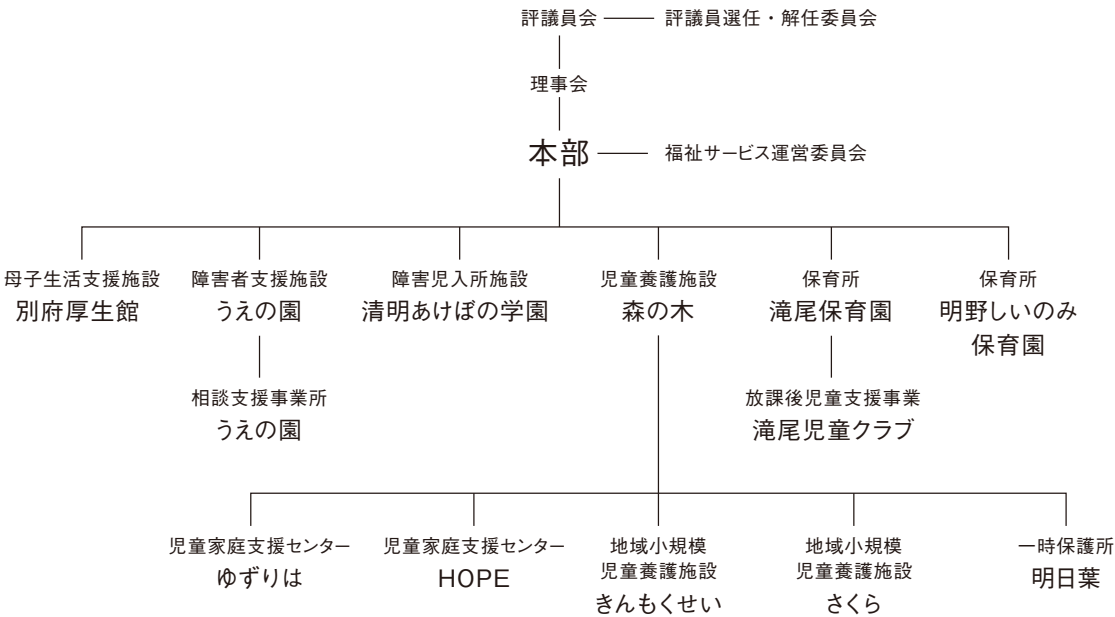
概要

法人名	社会福祉法人 大分県福祉会
所在地	〒870-0025 大分県大分市顕徳町1丁目13-17
電話番号	097-532-3472
FAX番号	097-532-3475
代表者	理事長 有松 一郎
運営施設	母子生活支援施設 別府厚生館 障害者支援施設 うえの園 相談支援事業所 うえの園 障害児入所施設 清明あけぼの学園 児童養護施設 森の木 地域小規模児童養護施設 きんもくせい 地域小規模児童養護施設 さくら 児童家庭支援センター ゆずりは 児童家庭支援センター HOPE 一時保護所 明日葉 保育所 滝尾保育園 保育所 明野しいのみ保育園

評議員・理事・監事

【評議員】		
氏名	就任年月日	
麻生 栄作	平成29年4月1日	
衛藤 憲一	平成29年4月1日	
岡村 邦彦	平成29年4月1日	
工藤 修一	平成29年4月1日	
齋藤 國芳	平成29年4月1日	
秦 昭二	平成29年4月1日	
仲元 研二	平成29年4月1日	
平岩 純子	平成29年4月1日	
【法人役員】		
役職	氏名	就任年月日
理事長	有松 一郎	平成19年5月30日
常務理事	関谷 眞佐子	令和6年6月18日
理事	後藤 哲臣	平成23年5月31日
理事	橋本 均	令和3年6月18日
理事	安東 一夫	令和3年6月18日
理事	安藤 覚	令和4年4月1日
監事	此本 浩毅	令和2年9月18日
監事	永岡 壯三	令和3年6月18日
※任期…評議員：令和3年6月18日から令和7年定時評議員会まで、 理事・監事：令和5年6月27日から令和7年定時評議員会まで		

組織図



沿革

大分県福祉会の前身は、社会福祉・社会保障などに関する大分県の4団体が統合された財団法人大分県福祉事業協会です。1952年に社会福祉法人となり、現在のような子どもや母子、子どもの未来に係るさまざまな特性の6施設を運営するにいたります。

1945(昭和20)年	恩賜財団法人援護会大分支部が、別府市で別府厚生館を設立。別府市で、母子寮ならびに保育事業を開始
1949(昭和24)年	児童福祉法の施行に伴い、大分県が大分県盲児施設清明寮を創設。大分県児童福祉協会に経営を委託
1950(昭和25)年	大分県ろうあ児施設あけぼの寮が発足
1951(昭和26)年	恩賜財団同胞援護会大分県支部、大分県民生委員連盟、大分県社会援護協会、大分県児童福祉協会が統合され、財団法人大分県社会福祉事業協会が設立される。それぞれの運営施設を財団が継承
1952(昭和27)年	財団法人大分県社会福祉事業協会から、社会福祉法人大分県社会福祉事業協会へと組織変更。名称を社会福祉法人 大分県福祉会に変更する 矢野 六七吉、初代会長就任
1958(昭和33)年	養護施設春日園の経営を引き継ぎ、新たに養護施設青松園が開園 ※2005年にわかば園と青松園は統合され、児童養護施設森の木となる
1962(昭和37)年	有松岩彦、二代目会長就任
1966(昭和41)年	大分厚生館(母子寮)、大分洋裁授産場廃止
1968(昭和43)年	滝尾保育園が開園
1969(昭和44)年	ろうあ児施設あけぼの寮をあけぼの学園と改称
1971(昭和46)年	大分県盲児施設清明寮が、清明学園と名称変更
1973(昭和48)年	しいのみ保育園が開園
1980(昭和55)年	有松崇、三代会長就任
1986(昭和61)年	簡易住宅新生寮廃止
1993(平成5)年	滝尾保育園新園舎が完成
1994(平成6)年	簡易住宅協生寮廃止
1996(平成8)年	あけぼの学園、清明学園が合築施設として新たに発足。県立の盲児施設、県立のろうあ児施設から社会福祉法人設置の施設となる
1999(平成11)年	しいのみ保育園を明野しいのみ保育園と改称
2001(平成13)年	あけぼの学園、清明学園の合築施設に、知的障害者更生施設うえの園が新設される
2002(平成14)年	あけぼの学園、清明学園、うえの園の総合呼称が「福祉ハウス・クローバー」に決定する
2005(平成17)年	大分県福祉会50周年
2007(平成19)年	大分市立わかば園と青松園を移転統合した児童養護施設森の木が開園
2010(平成22)年	有松一郎、四代会長就任
2011(平成23)年	児童養護施設森の木が、地域小規模施設きんもくせいをスタート
2012(平成24)年	自立支援法に基づく障害者支援施設うえの園と名称変更
2014(平成26)年	あけぼの学園と清明学園を統合し、清明あけぼの学園に改称
2016(平成28)年	明野しいのみ保育園に分園開設
2017(平成29)年	児童養護施設森の木が、地域小規模施設さくらをスタート
2018(平成30)年	児童養護施設森の木が、児童家庭支援センター「ゆずりは」を開設
2020(令和2)年	滝尾保育園で放課後児童支援事業 滝尾児童クラブがスタート
2021(令和3)年	一時保護事業明日葉を開始
2025(令和7)年	滝尾保育園で放課後児童支援事業 滝尾児童クラブがスタート
2020(令和2)年	明野しいのみ保育園新園舎完成
2021(令和3)年	明野しいのみ保育園新園舎完成
2025(令和7)年	児童養護施設森の木が、児童家庭支援センター HOPE を佐伯市に開設
2025(令和7)年	滝尾保育園の隣接地に、制度のはざまにいる子どものケアとご近所さんの顔がみえる拠点 えんえん開設予定

私たちの想いを伝えるメディア

大分県福祉会ってどんなところ？ どんな職業の人が働いているの？
いろいろな疑問にお答えできるよう、施設の雰囲気や実際に働く職員の想いや
日々の支援の様子などをさまざまなメディアを通してお伝えしています。



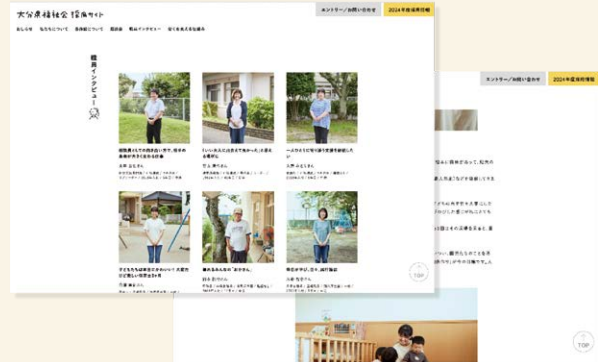
社内報

職員自ら取材・執筆し、働く私たちの生の
声を取り入れた職員一人ひとりの個性があ
ふれる内容となっています。各施設の様子や
トピックスも載せており、各施設の日常の
雰囲気がわかります。



法人Webサイト・法人パンフレット

各施設の特色や魅力を職員で再考しながら
作成、伝えづらいそれぞれの福祉事業をわか
りやすく紹介しています。今後も随時アップ
デートする予定です。パンフレットのPDF
は、法人Webサイトからダウンロードして、
ご覧いただけます。



採用Webサイト

勤務形態や勤務条件などの採用情報だけで
なく、実際に働いている職員のインタビュー
や対談を紹介しています。写真も豊富で、
法人や各施設の雰囲気を詳しく知ることが
できます。応募をご検討中の方はもちろん、
たくさんの方に見ていただきたいです。



会報

前回大幅にリニューアルしました。これから
も、法人内外のみなさまに大分県福祉会の
ニュースや各施設の取り組みの進捗をお伝
えし、より透明性の高い、より地域にとって
親しみやすい法人を目指します。



社会貢献活動

大分県福祉会は、利用者様、地域のみなさま、職員がつながりながら、
さまざまな社会貢献活動をしています。

別府厚生館

- 別府八湯温泉まつり：別府市子ども会育成会連
合会のメンバーとして、湯けむり総パレードや別
府市の祭りなどの催事に参加しています。
- 三世代ゲートボール大会：館主催の行事開催を
通し、地域の世代間交流を促進しています。
- 災害時の緊急避難場所：災害時の地域の避難所
として施設を利用できるよう、地域と締結してい
ます。
- AED研修：年に1回利用者、地域の方を対象に、
AEDの使い方の講習をおこない、緊急時に備えて
います。



別府八湯温泉まつり

滝尾保育園

- たきお青空マルシェ：2022年から、地域貢献・
活性化を目的として開催しています。今年5月の
マルシェでは、地域の方や園の保護者による飲食
や手づくり雑貨などのブースの出店、さらに、学
生や地域有志の方にエイサーや神楽の披露をし
てもらい、交流を図りました。その日は、約800名
の参加がありました。
- 羽田東公園愛護会活動：羽田東公園愛護会に入
り、地域の方とともに公園の環境整備に取り組ん
でいます。保育園に隣接する羽田東公園の草取り
やゴミ拾いを、月1度おこなっています。
- 地域交流：地域の方と一緒に芋の苗植えをし
たり、地域のふれあいサロンの方と一緒に遊んだり、
遠足に行ったりして定期的に交流しています。



たきお青空マルシェで披露された神楽

明野しいのみ保育園

- 地域清掃：月に1回、近くの公園や保育園周辺
などのごみ拾いをおこなっています。
- 保育園ホールの貸し出し：年に1～2回、明野
しいのみ保育園の多目的ホールを地域の話し合い
の場として貸し出しています。
- 地域サロン：4、5歳児を対象に地域サロンの
方々との交流の場を設けて、わらべうた遊びをし
たり、季節の制作をしたりしています。
- 青少年赤十字花いっぱい運動：道路沿いの花壇
にチューリップを植えて地域の歩道を花で明るく
し、道ゆく人を楽しませています。



地域サロン

森の木

- ふれあい交流会（一人暮らし高齢者支援）：
賀来公民館と民生委員が中心となっておこなっ
た事業に「福祉同士のつながりを持てたら」と森
の木やほかの福祉施設が加わり、協働して実施す
るようになりました。／7月に地域の一人暮らしの
お年寄りを森の木と公民館にお招きし、お楽しみ
会（歌、健康体操など）や食事会などをおこない
ます。毎年、30～40名の方が参加されます。2月
には、7月に参加できなかった一人暮らしの高齢者
に向けてお弁当を届けています。
- もちつき大会：地域の方々（森の木地区）、日本製
鐵、森の木が共同でおこないます。多い年は100名
以上が集まり、一緒に餅をつき、つきたてのお餅を
調理する工程を通じて地域の方々と交流します。



もちつき大会

うえの園・清明あけぼの学園

- AED研修：年に1回地域の方にも参加してい
ただき、職員と一緒にAEDの使い方の学習をおこな
っています。施設内にあるAEDの場所を確認し、い
つでも貸し出しができることをお伝えしています。
- 福祉避難所：台風などの災害時に大分市の要請
に応じて、障がいのある方と付き添いの方の福祉
避難所として登録をしています。施設内の一部ス
ペースを開放し、非常食や寝具類などを提供でき
るようにしています。
- 地域清掃：大分市一斉清掃日には、施設で生活
している人たちも職員と一緒に地区の清掃に参加
をしています。また、秋には日頃利用している公
園や近隣の歩道のゴミ拾いや草取りをしています。



AED研修



地域清掃

伝統行事 友情の螢

竹田市立竹田小学校や明治地区のみなさんと螢を通して
交流を深めています。その交流の歴史は長く、今年度で第
72回を迎えました。受け取った螢を清明あけぼの学園で
大切に育て、孵化した幼虫は竹田市明治地区の小川に放
流し、里帰りをします。交流では視覚障がいや聴覚障がい
について職員から話をしたり、みんなが楽しめるレク
リエーションをしたりと、お互いのことを知り、理解を
深めるためのとても大切な時間となっています。





Photo: Kaichiro Fujimoto



ひとりの困りごとにも まなざしを向ける

まわりの情報をぐんぐん吸収して、日々変化していく子どもたちは、まるで社会や環境を測るものさしのようです。

子どもたちが笑顔になれる場所は、周りの大人も職員も地域もみんなが笑顔になれる、どんな人でもきっと生きやすい場所です。

「大分県福祉会」では、そうした場の実現を目指して、子どもを中心に多岐にわたる事業をおこなっています。年齢や障がいの有無、家庭環境に関係なく、みんなが笑顔になるには、既存の枠組みの中では、行き届かないこともたくさんあります。

だからこそ、このもどかしい気持ちを原動力に変えて、まだ見えていない人々の生きづらさに向き合い、真っ先に手を差し伸べられる存在であるために、考えることを諦めないこと。それが、私たち大分県福祉会の役割だと考えています。



各施設の連絡先・事業内容

母子生活支援施設 別府厚生館

TEL 0977-22-0418 (24時間受付) FAX 0977-25-9211 メール b-kouseikan@oitakenfukushikai.com
母子生活支援／緊急一時保護事業・ショートステイ／子育て相談

障害者支援施設 うえの園

〒870-0823 大分県大分市東大道 2-3-3
TEL 097-546-3551 FAX 097-543-4414 メール uenoen@oitakenfukushikai.com
施設入所支援／生活介護事業(通所の方を含む日中の活動)／短期入所事業(宿泊)／日中一時支援事業(日帰り)

障害児入所施設 清明あけぼの学園

〒870-0823 大分県大分市東大道 2-3-3
TEL 097-546-3771 FAX 097-543-4414 メール uenoen@oitakenfukushikai.com
障害児入所施設／一時保護委託事業／短期入所(宿泊)／日中一時支援事業(日帰り)／盲児・ろうあ児等専門支援事業／
児童発達支援管理責任者による相談受付／発声発語訓練

児童養護施設 森の木

〒870-0862 大分県大分市大字中尾 457-1
TEL 097-549-3508 FAX 097-549-0535 メール morinoki@oitakenfukushikai.com
児童養護施設／地域小規模児童養護施設: さくら・きんもくせい／一時保護所 明日葉／里親支援／
児童家庭支援センター ゆずりは・HOPE

保育所 滝尾保育園

〒870-0942 大分県大分市大字羽田 456
TEL 097-569-3384 (滝尾児童クラブ TEL 080-8592-2479) FAX 097-567-3811 メール takio@oitakenfukushikai.com
0～5歳児保育／一時預かり保育／子育て広場・子育て相談／滝尾児童クラブ

保育所 明野しいのみ保育園

〒870-0164 大分県大分市明野西 2-25-2
TEL 097-558-2211 FAX 097-556-6944 メール akenoshiinomi@oitakenfukushikai.com
0～5歳児保育／子育て広場・子育て相談

相談事業の連絡先

児童家庭支援センター ゆずりは

〒870-0025 大分県大分市顕徳町 1-13-17
TEL／FAX 097-574-8525 (24時間受付) メール jikasen.yuzuriha@oitakenfukushikai.com

児童家庭支援センター HOPE

〒876-0853 大分県佐伯市中村東町 3-18
TEL 0972-28-6317 (24時間受付) FAX 0972-28-6324 メール jikasen-hope@oitakenfukushikai.com

相談支援事業所 うえの園

〒870-0025 大分県大分市顕徳町 1-13-17
TEL 097-574-8535 (月～土 10:00-18:00 ※祝祭日は除く)

社会福祉法人 大分県福祉会 会報 第89号

発行日: 2024年10月1日 発行者: 有松 一郎

〒870-0025 大分県大分市顕徳町 1-13-17
TEL 097-532-3472 FAX 097-532-3475 メール honbu@oitakenfukushikai.com

編集責任: 堤 郁夫 (滝尾保育園 園長)

編集委員: 佐藤 浩志・安部 夏希 (森の木)、田中 那知 (別府厚生館)、平安 智哉・江藤 淑子 (うえの園)、丹羽 正次郎・清水 美佳 (清明あけぼの学園)、杉山 央・大石 真由美・浅利 桃子 (滝尾保育園)、重田 綾・中川 恵理子・大嶋 美月 (明野しいのみ保育園) 顧問: 関谷 眞佐子 (大分県福祉会事務局長)

編集ディレクション: 竹尾 真由美 デザイン: UMA/design farm